平成28年度 奈良市の

わかりやすい 決算書

市民のみなさんから お預かりしているお金の使い道などを
わかりやすくご説明します。

奈良市のわかりやすい決算書

奈良市の決算や財政状況については、これまでもホームページなどで公表してきましたが、

市が法律にもとづいて作成する決算書は、専門用語やたくさんの数字が記載され、

すこしわかりにくい作りになっています。

この「わかりやすい決算書」は、はじめて市の決算に触れる市民のみなさまにも、

本市の財政状況や市が行っている取組について理解していただけるように、

なるべく身近な表現を心がけて作成しました。

奈良市の財政状況は依然厳しいものがあります。

そのなかで効果的で未来につながる魅力的な施策を実行するためには、

市民のみなさまの理解と協力が不可欠です。

この冊子を通して、奈良市の財政状況について理解を深めていただければ幸いです。

目次

基礎知識～決算とは～ …… 2ページ

詳しく見てみよう～収入～ …… 4ページ

詳しく見てみよう～支出～ …… 6ページ

用語編 …… 7ページ

未来の奈良市のために～事業編～ …… 8ページ

基礎知識 ～決算とは～

Q 決算ってなに?

A. 決算とは、1年間(4月～翌年3月)の収入(入ったお金)と支出(使ったお金)をまとめたものです。

決算を議会へ報告することが、法律で決められています。市民のみなさまが納めている税金が正しく使われているかどうか、市民の代表である議会がチェックしています。

Q 収入ってどこから入るの?

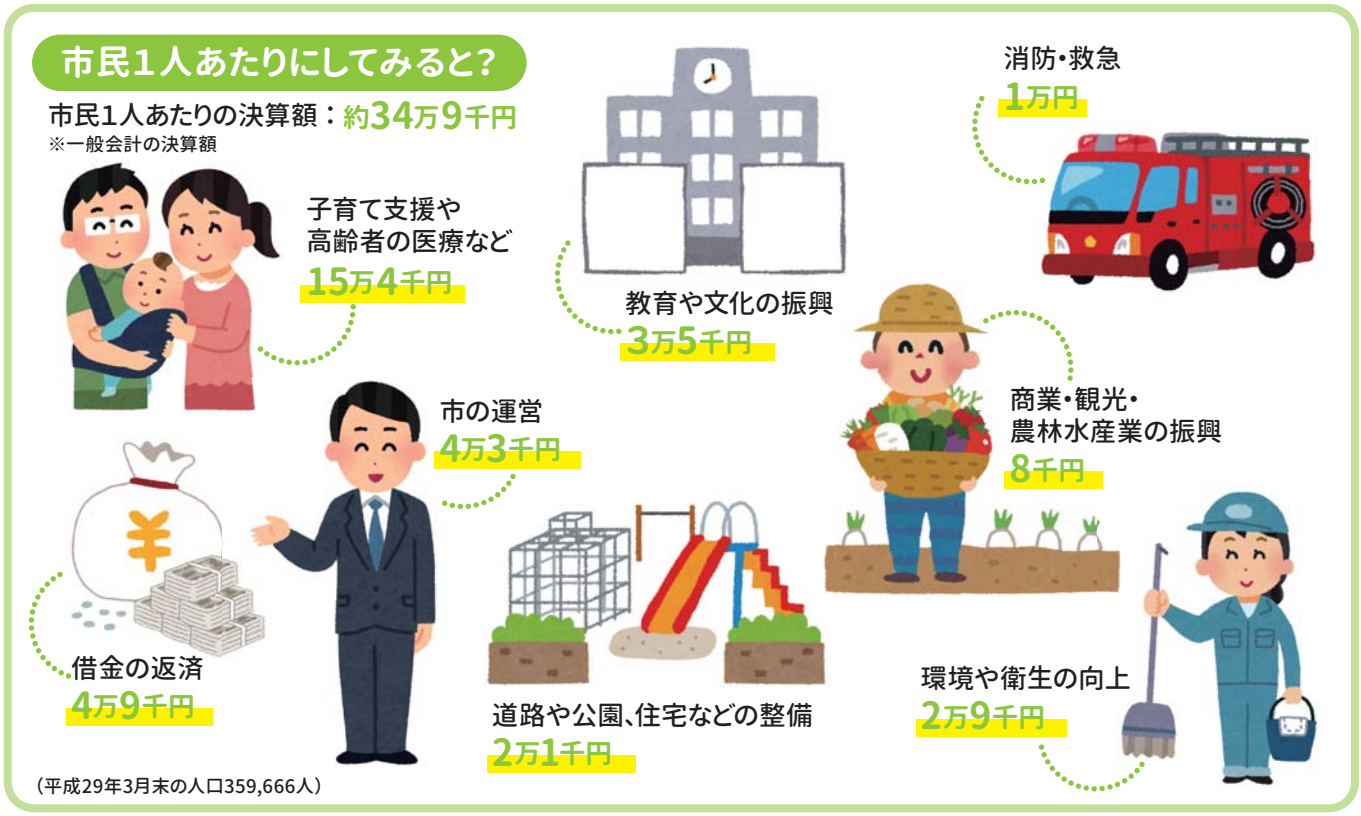
A. 奈良市の収入の約4割が、みなさんから納められた税金です。

税金には個人市民税(個人が収入に応じて納める税)、法人市民税(会社が納める税)、固定資産税(土地・家などにかかる税)などがあります。そのほかには、国や県から配分されるお金、銀行などから借りるお金などがあります。

Q 支出って何に使っているの?

A. 何にどれだけ使うかを決める計画である予算をもとに、みなさんが必要とする様々なものにお金を使っています。

学校や道路、公園などの整備やごみ処理などもそのひとつです。



Q 平成28年度の奈良市の決算は?

A. 下の図のように、平成28年度の一般会計は歳入総額（入ったお金の総額）が1,267億6,140万円で歳出総額（使ったお金の総額）が1,256億9,591万円でした。

その差引が約11億円ですが、平成28年度にする予定で完了しなかった事業を平成29年度に行うために必要なお金が約1億円ですので、それを差し引いた約10億円が実際に手元に残ったお金になり、うち2億5,000万円を基金として貯金しました。

収入総額
1,267億6,140万円

- 市民のみなさんや市内の会社が納めた税金【市税】
- 国から配分されたお金【地方交付税・譲与税・交付金】
- 国や県が必要だと認めた事業に対して、配分されたお金【国・県支出金】
- 借金【市債】
- その他

支出総額
1,256億9,591万円

約11億円
収入と支出の差で残したお金

- 保育園やこども園の運営 生活保護 高齢者や障害者の支援【民生費】
- 庁舎の管理運営【総務費】
- ごみの処理など【衛生費】
- 道路や公園の整備【土木費】
- 学校の整備、運営【教育費】
- 借金の返済【公債費】
- その他

詳しく見てみよう～収入～

Q 市の収入ってどんなもの?

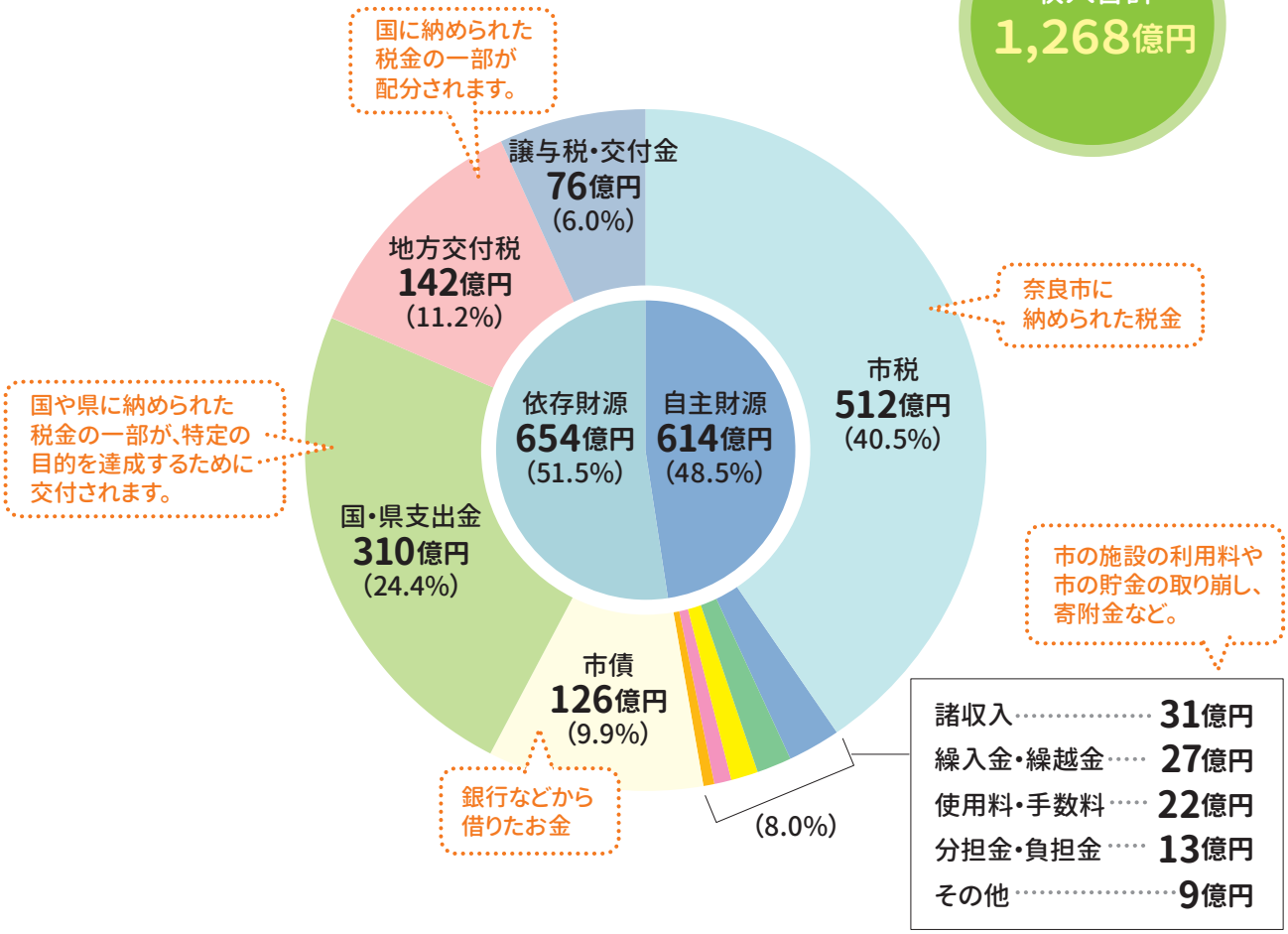
A. 収入で一番多いのは税金(市税)です。

税金には、奈良市内に住んでいる人などが納める個人市民税、奈良市内に事務所などがある法人が納める法人市民税、奈良市内に土地や家などを持っている人が納める固定資産税などがあります。

国に納められた税金の一部が県や市などに配分される地方交付税は、国からのお金のなかでも使い道が決められていないもので、奈良市にとって重要な収入です。

収入の内訳

収入合計
1,268億円



Q 去年と比べてどう?

A. 平成28年度は平成27年度と比べて約10億円減少しました。

国から配分される地方交付税が約8億4,000万円減少しました。また、市税が約4億9,000万円、市の借金である市債が約4億5,000万円減少したことも歳入減の大きな要因です。

一方で、基金からの繰入金が約11億6,000万円、国庫支出金が約4億8,000万円増加しました。

Q 市債ってなんですか?

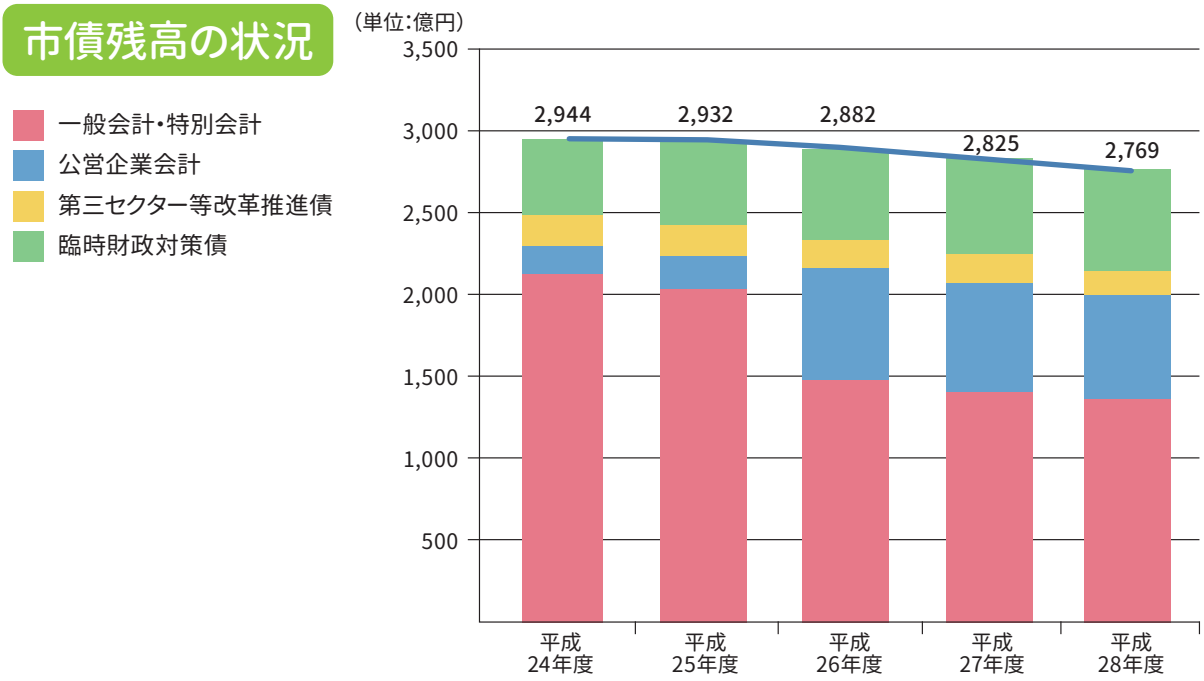
A. 市債とは銀行などから借り入れた借金のことです。

下の表を見てもらうとわかるように借り入れを抑制し、返済を行ってきたことで、平成28年度末の市債残高は、一般会計・特別会計・公営企業会計含めて約2,769億円となっています。

年々減っていますが、市民一人当たりにすると約80万円と大きな金額であることにかわりはありません。

なぜ、市債を借り入れるのかという理由ですが、お金が足りないためのほかにみなさんで負担を分け合うということがあります。学校や公園や道路など、何年にもわたって使うものについては、何年にもわたって借金を返していくことで、今の人だけではなく、将来使う人にも公平に負担してもらうためです。

市債残高の状況



これからの取組について

これからも仕事のやり方を見直したり、効率をあげたり、いろいろな取組を行っていくことで、支出を減らしたり借金を減らしたりする努力を続けていきます。

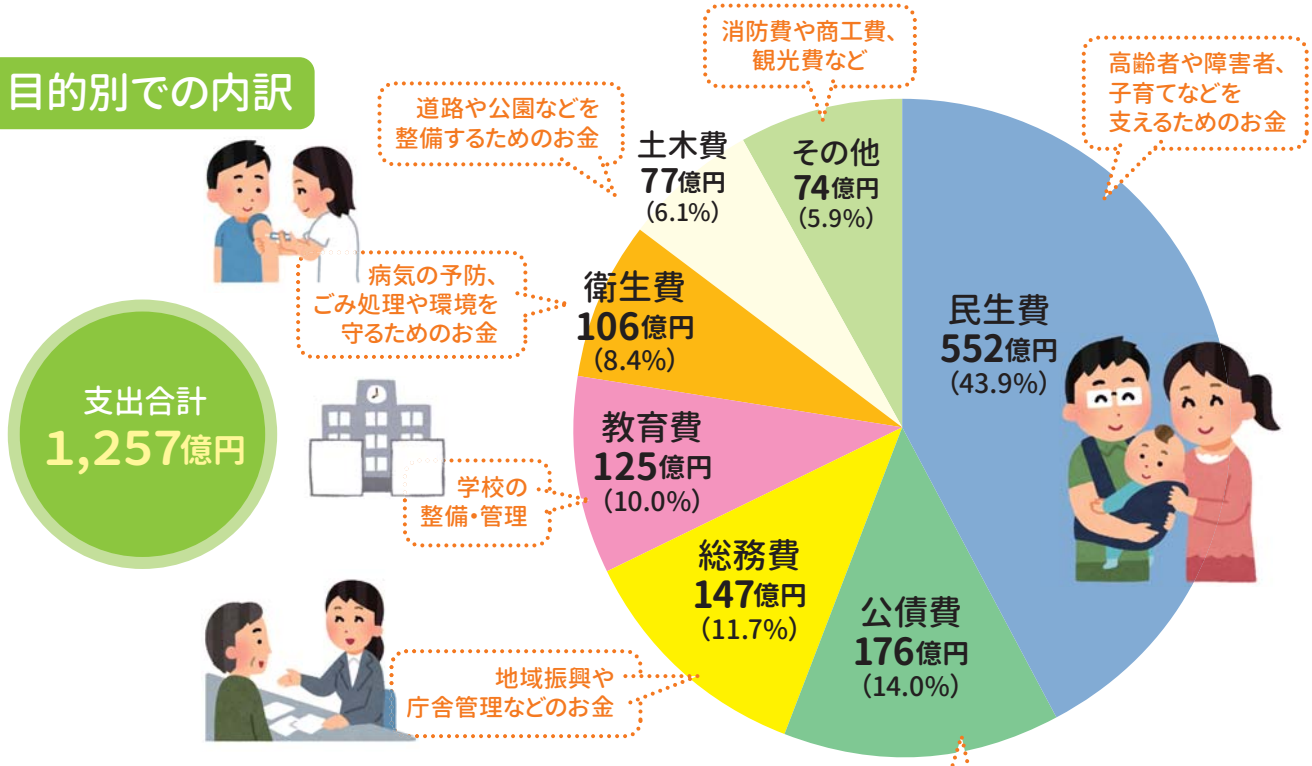
また、さまざまなイベント、事業などを行うことで、奈良市の魅力を発信し、多くの人に奈良市を訪れてもらい、収入の増加につなげていきます。

詳しく見てみよう～支出～

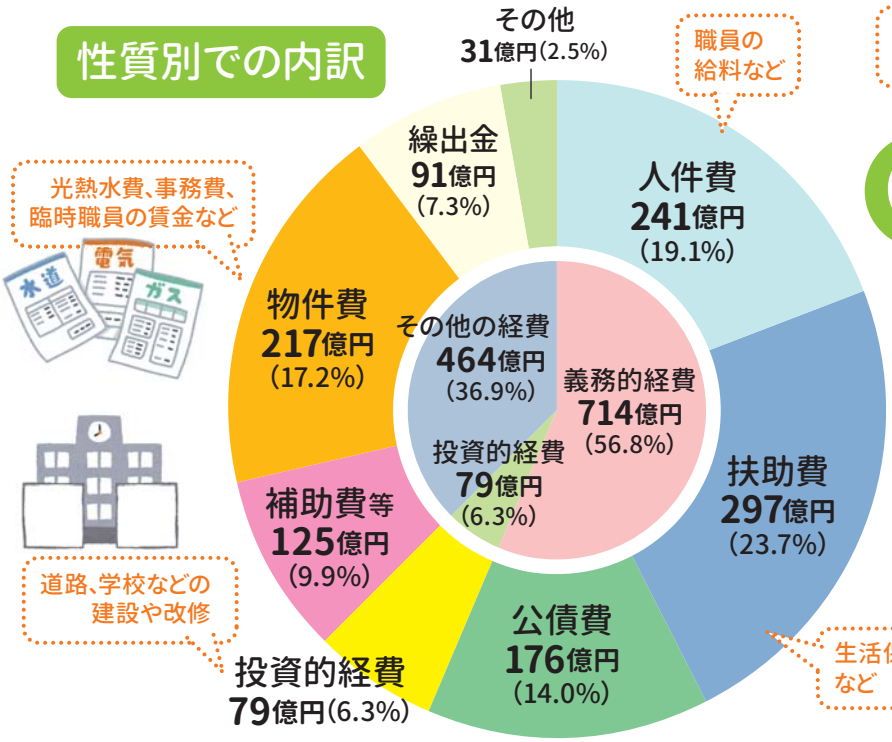
Q お金の使い道ってどんなもの?

A. 下の2つのグラフに平成28年度のお金の使い道を示しています。
【何のために使ったのか】が目的別、【どういう用途にお金を使ったのか】が性質別という分け方をしています。
分け方が2通りあるため、2つのグラフがありますが、お金の合計は同じです。
同じものを違う見方をすることで、どんなことに力を注いだかわかります。

目的別での内訳



性質別での内訳



Q 義務的経費ってなんですか?

A. 義務的経費は毎年必ず支出しなければいけないもので、人件費と扶助費と公債費からなります。

平成28年度奈良市の決算では50%を超えていますが、この経費が占める割合が多いほど、新しいことや独自のことをするのが難しくなります。

用語編　今まで出てきた言葉をもう一度整理します。

支出の分類

●【目的別】～何のために～

項目	説明
議会費	議員の報酬や議会運営などにかかる経費
総務費	市役所の全般的な仕事にかかる経費
民生費	児童、高齢者の支援や生活保護などにかかる経費
衛生費	医療やごみの収集処理などにかかる経費
労働費	労働者の福祉向上や就労支援などにかかる経費
農林水産業費	農林業の振興にかかる経費
商工費	中小企業の育成、企業誘致などにかかる経費
観光費	観光振興にかかる経費

項目	説明
土木費	道路、河川、住宅、公園などの整備にかかる経費
消防費	災害から市民を守るための経費
教育費	学校の整備・管理、生涯学習、文化財保護などの経費
災害復旧費	大雨、暴風、地震などの災害により被災した施設の復旧にかかる経費
公債費	借金の返済
諸支出金	他に含まれないもの
予備費	緊急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金

●【性質別】～どんなことに～

項目	説明
義務的経費	毎年必ず支出しなければならない経費
・人件費	職員の給料など
・扶助費	生活保護費、障害者支援費などの福祉にかかる経費
・公債費	借金の返済
投資的経費	道路、学校などの建設や大規模な改修などの整備にかかる経費

項目	説明
その他の経費	
・物件費	光熱水費、事務費、臨時職員の賃金など
・維持補修費	施設の維持管理にかかる経費
・補助費等	公的な団体への補助金、負担金など
・積立金	基金への積立金
・投資・出資金	市が行う投資や法人などへの出資にかかる経費
・貸付金	市が一時的に貸し出しをする経費
・繰出金	特別会計の収入を補うための経費

収入の分類

項目	説明
自主財源	市が自主的に調達できる収入
・市税	みなさんが奈良市に納めた税金
・分担金及び負担金	事業にかかる経費の一部を受益の程度に応じて利用者に負担していただくお金
・使用料及び手数料	施設の利用や証明書を発行する際などにいただくお金
・繰入金	各種基金を取り崩して使うお金
・その他	寄附金や、不動産売却などの財産収入、前年度からの繰越金など
依存財源	国や県から交付されたり、割り当てられる財源や市債
・地方交付税・譲与税・交付金	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は自由
・国・県支出金	みなさんが国に納めた税金の一部。使い道は決められている
・市債	銀行などからの借入れ（借金）

教育環境の充実

きめ細かな指導といじめ対策

担当:教職員課

発達に応じた少人数学級の実施
いじめ対応教員を全小中学校に配置
特別支援教育支援員の増員

3億8,311万円

奈良市の進める「質の高い公教育」の実現へ向け更なる取組を行うとともに、いじめ対策の充実など子どもたちが充実した学校生活を送ることができる環境づくりに取り組みました。

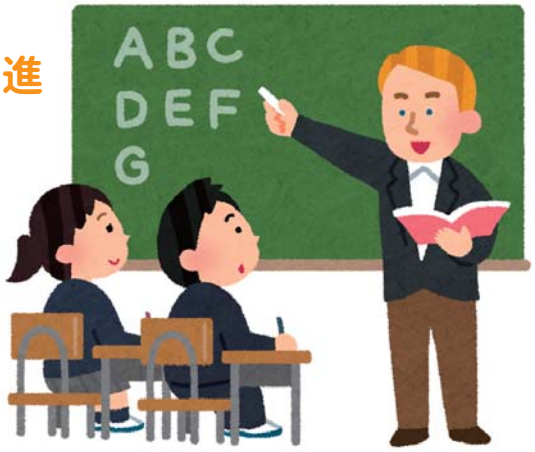
次世代を見据えた公教育改革

担当:学校教育課

市立一条高等学校の教育改革
ICT教育モデル校での調査研究の推進
英語教育の充実

8,833万円

タブレット端末を活用した教育、小学校1年生からの英語教育、また、平成32年の大学入試改革を見据えた高校教育等、子どもたちの未来のための公教育を提供しました。



教育現場の支援体制の充実

担当:学校教育課ほか

市立小学校へのスクールカウンセラー配置
学校図書館へ司書を派遣
部活動支援の充実
教育個別訪問研修の充実

7,449万円

スクールカウンセラーを全ての市立小学校に配置するとともに、中核市であるからこそできる「独自の教員研修」などにより、教育現場への支援の充実を図りました。

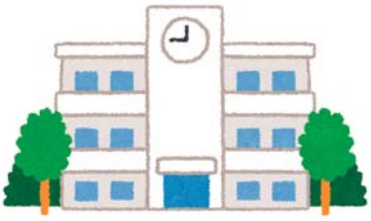
教育施設の整備

担当:教育総務課ほか

月ヶ瀬小学校・中学校の大規模改修と校舎増築
学校規模適正化のための地域の小学校の統合・再編
中学校給食の全校実施
市立図書館の図書返却ポストの増設

22億8,976万円

子どもたちが安心して学校生活を送れるよう、校舎の改修など学校施設の整備を進めました。また、中学校5校で給食室を整備し、全中学校で学校給食を実施しました。



子育て環境の充実

子育て支援

担当:子ども育成課ほか

子ども医療費助成の拡大
子どもの貧困対策整備計画策定
老朽化・狭あい化したバンビーホームの整備

8億1,058万円

子育てにおける経済的負担を軽減できるよう、子ども医療費助成の対象を新たに「中学生の通院」にまで拡大しました。また、市内3箇所のバンビーホームの整備を行いました。

相談体制の充実

担当:子育て相談課ほか

保育園・幼稚園・こども園の園巡回相談の充実
児童虐待やDVの防止

1,037万円

保育士、幼稚園教諭への助言や、子育てに不安を抱える親のための相談体制を充実しました。また、配偶者暴力相談支援センター窓口を開設しました。

待機児童の解消

担当:子ども政策課ほか

市立幼稚園・保育園の認定こども園化の推進

2億7,063万円

待機児童の解消に向け、親が安心して子どもを預けて仕事を続けられる環境づくりに取り組みました。市立の幼稚園と保育園を再編し認定こども園への移行を進めました。

安全・安心に暮らせるまちづくり

防災に強いまちづくり

担当:道路建設課ほか

公園や橋の計画的な点検や長寿命化
老朽化した明治小学校の改築
管理不全の空き家の除却などの空き家対策

5億8,204万円

「まち」「ひと」の安全を守るため、近年問題となっている空き家の対策に取り組みました。また、公共施設の長寿命化や明治小学校の改築を行いました。

福祉の推進

担当:
障がい福祉課ほか

精神障害者医療費助成の拡大
「ヘルプマーク」啓発事業
小規模多機能型居宅介護施設の整備補助

7,109万円

高齢者、障害をもつ人にも住みやすい、暮らしやすいまちをつくるための施策を行いました。また、精神障害者医療費助成の対象者を拡大しました。

快適な都市基盤の整備

担当:
西大寺駅周辺整備事務所ほか

近鉄大和西大寺駅周辺の整備
まちづくり基本構想案の策定
近鉄菖蒲池駅南口エレベーター設置
通学路・交通安全施設の整備

3億4,949万円

駅周辺整備や通学路・歩道の整備など、快適で利便性の高いまちづくりに取り組みました。また、奈良公園周辺地区など2地区において、まちづくりを進めるための基本構想案を策定しました。

その他地方創生の推進

女性の活躍

担当:産業振興課

女性の就労支援

2,669万円

奈良市は女性の就労割合が全国より低いことから、就職に向けた相談会や在宅ワークのセミナー起業の支援など、女性を対象とした支援施策に取り組みました。

観光客の誘致

担当:奈良町にぎわい課ほか

奈良町おもてなし戦略
海外への観光プロモーション

3,516万円

観光客の誘致と滞在時間の延長を図り観光消費額の増加を目指すため、「奈良町」を核として町家等の資源を活用した施策などに取り組みました。

健康長寿の推進

担当:健康増進課ほか

ポイント制度を利用した健康づくりの応援
胃がん・肺がん検診の個別検診導入
健康寿命延伸のための啓発

4,067万円

市民の健康長寿延伸のため、奈良市ポイント制度を活用したスポーツイベントなどの施策を行いました。

「移住・定住」の促進

担当:奈良ブランド推進課

定住促進サイト「なら、らぶ、りぶ」の運営によるシティプロモーション
空き家の利活用

1,700万円

人口の増加を図るため、移住・定住につながる情報を発信しました。また、空き家の利用を促すため、総合窓口の設置や空き家バンクに登録された住宅の購入・改修支援などに取り組みました。

その他重点項目

担当:文化振興課ほか

東アジア文化都市事業
クリーンセンター建設計画
鴻ノ池運動公園の整備

4億1,342万円

「東アジア文化都市2016奈良市」をテーマ「古都奈良から多様性のアジアへ」のもと開催しました。また、鴻ノ池運動公園駐車場の拡張工事を進めました。

奈良市のわかりやすい決算書

【発　　行】奈良市
【お問合せ】奈良市 財務部 財政課
〒630-8580
奈良市二条大路南一丁目1番1号
電話 0742-34-4720
FAX 0742-34-4755